

北九州市国民健康保険特定健診

CKD予防連携システム図 (H29~)

北九州市国民健康保険特定健診受診 (健診実施機関)

eGFR60未満または
検尿異常 (尿蛋白+または尿潜血 2+以上) または、
HbA1c6.0以上

健診結果通知表にCKD予防連携システム該当有無記載・説明

一次医療機関 (かかりつけ医)
【保険診療】患者負担が発生することを伝えた上で医師の判断に応じて検査を実施

HbA1c6.0以上のみ

腎機能低下あり

糖尿病型診断

※眼科受診

尿蛋白定性検査

-、±

1+以上

尿中アルブミン排泄量測定

正常・微量アルブミン尿

顕性アルブミン尿

- 血尿がある
- 眼底病変がない

- 3~6ヶ月ごとの微量アルブミン尿検査
- 3回中2回微量アルブミン尿
- 早期糖尿病性腎症診断

- CKD悪化因子の把握、治療と是正
- 必要に応じ糖尿病専門医等と連携

併診

- 検尿再検 (試験紙法 随時尿) 2回以上
※1回は可能なかぎり早朝尿
- 尿沈渣顕微鏡検査
- 尿蛋白クレアチニン比の測定 (随時尿)

いずれかに該当

- 0.5g/gクレアチニン以上または2+以上の蛋白尿
- eGFR50未満 (70歳以上はeGFR40未満)
- 蛋白尿と血尿がともに陽性 (1+以上)

該当なし

該当

- CKD悪化因子 (糖尿病・高血圧症・脂質異常症・高尿酸血症・肥満・喫煙および貧血など) の把握、治療と是正

特に糖尿病型の場合

- 【CKD悪化因子】
- 血圧130/80以上
 - LDL120以上
 - 中性脂肪150以上
 - 尿酸7.1以上
 - HDL40未満

- 速やかに腎臓専門医に紹介する基準
- (1) 蛋白尿の急激な増加
- (2) 急速な腎機能低下 (GFRが3ヶ月で30%以上減少)
- (3) eGFR<30

併診

二次医療機関 (腎臓専門医)

- 精査と治療【保険診療】

※泌尿器科疾患が疑われる場合は泌尿器科受診

図中 単位省略
* R5一部修正

慢性腎臓病（CKD）予防連携システム運用状況

1 年度内の各様式返信数（慢性腎臓病（CKD）予防連携システム運用状況）

運用状況	年度	30	R1	R2	R3	R4
	様式2 ※一次医療機関から二次医療機関へ紹介連絡票		77	36	45	24
様式4 ※二次医療機関受診者連絡票		96	65	57	46	64

・様式2は一次医療機関より、様式4は二次医療機関から行政への返信様式

2 健診結果による一次医療機関および二次医療機関受診対象者数

		年度	30	R1	R2	R3	R4
対象者数	特定健診受診者 (A)		55,709 人	50,354 人	49,147 人	50,125 人	49,448 人
	一次医療機関受診対象者 (B) ※糖のルートを除く (B/A)		18,010 人 32.3%	15,574 人 30.9%	15,983 人 32.5%	16,094 人 32.1%	25,814 人 52.2%
対象者数	二次医療機関受診対象者の者 (C) ※健診時の結果より推計 (C/A)		3,508 人 6.3%	2,504 人 5.0%	2,671 人 5.4%	2,712 人 5.4%	2,842 人 5.7%
	専門医受診あり (D) ※問診より (D/C)		764 人 21.8%	554 人 22.1%	657 人 24.6%	620 人 22.9%	659 人 23.2%
	新規二次医療機関受診対象者 (E) ((C) - (D)) ※推計値 (E/A)		2,744 人 4.9%	1,950 人 3.9%	2,014 人 4.1%	2,092 人 4.2%	2,183 人 4.4%
	HbA1c のルート (F) (F/A)		10,008 人 18.0%	9,630 人 19.1%	9,306 人 18.9%	9,284 人 18.5%	8,592 人 17.4%

- ・特定健診受診者 (A) は受診者総数（当該年度 75 歳を含む）
- ・二次医療機関受診対象者 (C) は健診時検査値により北九州市慢性腎臓病予防連携システムによる二次医療機関受診基準該当者

3 様式運用率

年度	30	R1	R2	R3	R4
様式返信数を新規二次医療機関受診対象推計数 (E) に対する割合	3.5%	3.3%	2.8%	2.2%	2.4%

取り組みの評価

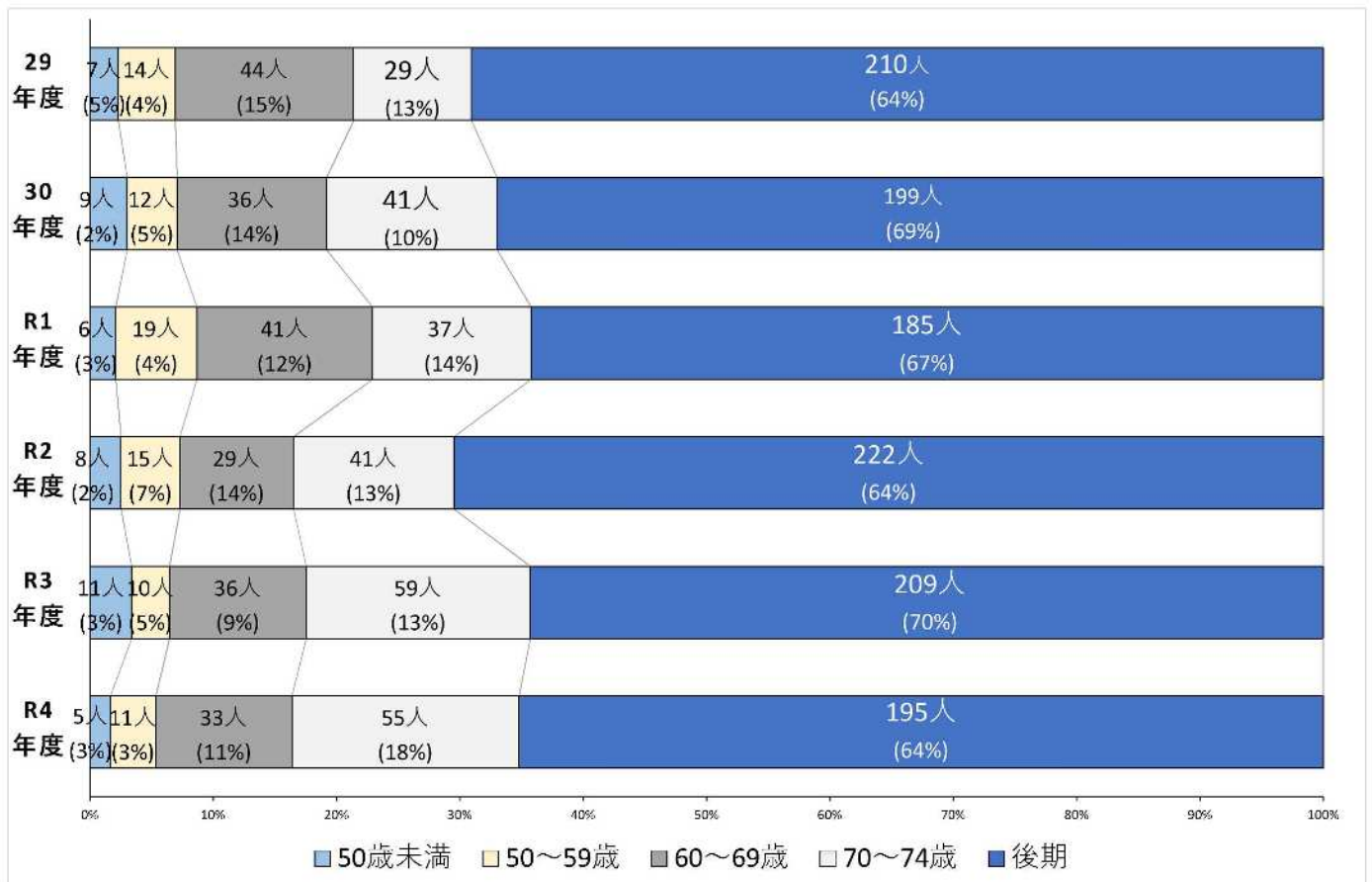
(1) 北九州市の新規透析導入者の推移

市町村名	国保											
	H29		H30		R1		R2		R3年度		R4年度	
	人数	被保千対	人数	被保千対	人数	被保千対	人数	被保千対	人数	被保千対	人数	被保千対
北九州市	94	0.44	98	0.47	103	0.51	93	0.47	116	0.60	104	0.56
福岡県	457	0.40	508	0.44	487	0.43	487	0.44	491	0.45	464	0.44

市町村名	後期											
	H29		H30		R1		R2		R3年度		R4年度	
	人数	被保千対	人数	被保千対	人数	被保千対	人数	被保千対	人数	被保千対	人数	被保千対
北九州市	210	1.43	199	1.33	185	1.22	222	1.47	209	1.36	195	1.24
再掲 (65~74歳)	32	—	28	—	28	—	28	—	25	—	16	—
福岡県	787	1.17	866	1.26	825	1.18	911	1.30	856	1.19	790	1.07

【保健事業評価・分析システム】

(2) 新規透析導入患者数の年齢別の推移



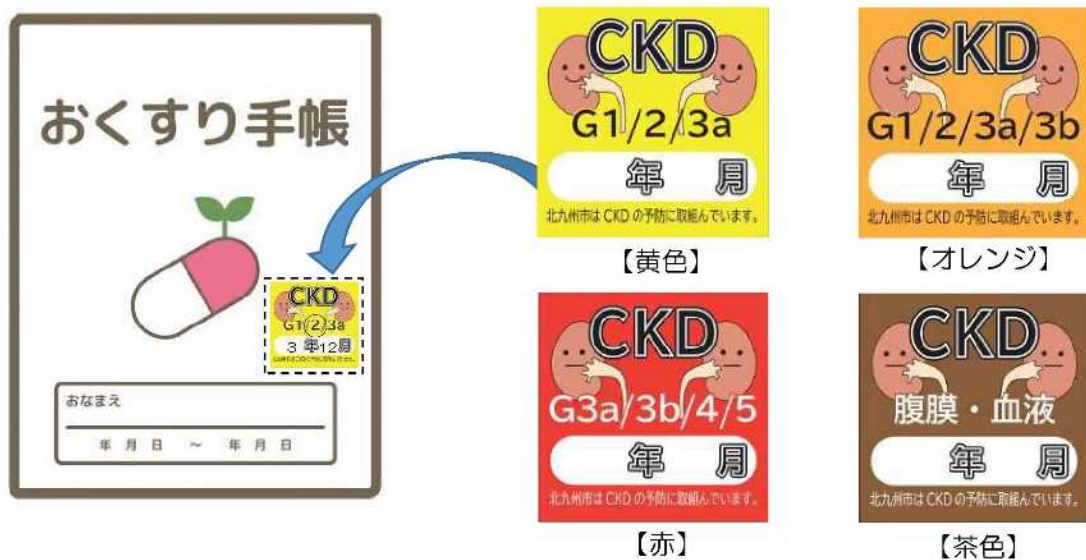
CKD ヒートマップシールについて

1. 目的

- ・患者本人が自分自身の腎機能について理解する
- ・かかりつけ医、薬剤師、コメディカル等の円滑な多職種連携を目指す

2. 活用方法

- ・かかりつけ医がCKD（慢性腎臓病）の方を対象に、該当する重症度分類の色のシールを、患者さんと相談し、お薬手帳の表紙もしくは内側に貼付する。
- ・貼付した年月、CKDの重症度分類に○を記入する。



【参考】CKDの重症度分類（CKD診療ガイド2012）

原疾患	尿蛋白区分		A1	A2	A3	
糖尿病	尿アルブミン定量(mg/日)		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿	
	尿アルブミン/Cr比(mg/gCr)		30未満	30~299	300以上	
高血圧、腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎、不明 その他	尿蛋白定量 (g/日)		正常 (-)	軽度蛋白尿 (±)	高度蛋白尿 (+~)	
	尿蛋白/Cr比 (g/gCr)		0.15未満	0.15~0.49	0.50以上	
GFR区分 (ml/分 /1.73㎡)	G1	正常 または高値	≥90	①	②血尿+なら紹介、蛋白尿のみなら生活指導・診療継続	③紹介
		G2	正常または 軽度低下	60~89	①	②血尿+なら紹介、蛋白尿のみなら生活指導・診療継続
	G3a		軽度~ 中等度低下	45~59	②40歳未満は紹介、40歳以上は生活指導・診療継続	③紹介
		G3b	中等度~ 高度低下	30~44	③紹介	④紹介
	G4		高度低下	15~29	④紹介	④紹介
	G5	末期腎不全 (ESKD)	<15	④紹介	④紹介	④紹介